

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2014年版、名古屋市建築 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)
 物環境配慮制度運用マニュアル2014

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三菱電機株名古屋製作所	階数	地上7F
建設地	愛知県名古屋市	構造	S造
用途地域	準防火地域、商業地域	平均居住人員	2,400 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年4月19日
敷地面積	306,451 m ²	作成者	
建築面積	4,868 m ²	確認日	2016年4月19日
延床面積	31,431 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>= BEE4.1 ★★★★★★</p> <p>☆:S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★ B:★★★ C</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>☆:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 4.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.9</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 4.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 4.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.6</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物の運用と設備機器の統合制御により、使用エネルギーをミニマム化、中央ヴォイドによる自然採光、自然換気を最大限に利用し、省エネルギー化。 シンプルな建築プランと、開口部を抑えた高い外皮性能を実現。</p>	<p>その他</p> <p>事務所エリアにおける中間期の重力利用自然換気による、空調負荷の大幅な低減。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>建物内外の遮音、吸音性能の向上。Low-Eガラス、高断熱サンドイッチパネル等、断熱外皮性能の確保。自然光の制御等、室内執務環境性能を向上。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>将来のオフィスレイアウトに柔軟に対応するフレキシビリティの高いオフィス環境を実現。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内の既存緑地の保全。既存建物との調和した建築計画。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高断熱ガラス、高効率設備機器の採用等により、BPI及びBEE値の向上を実現。自然換気、自然採光等の自然エネルギーを有効活用する計画。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>積極的なリサイクル材の採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂低減等、敷地外環境への負荷を低減。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される